

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170200291		
法人名	有限会社 ハート		
事業所名	グループホーム安庵		
所在地	佐賀県 唐津市 佐志 1156-26		
自己評価作成日	平成25年7月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成25年10月10日	外部評価確定日	平成25年11月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>唐津湾を望む高台に建つ木造平屋建ての2ユニットのグループホームである。1号館は居室から、2号館はリビングから、唐津城をはじめ唐津市内、虹の松原が一望でき、夜にはすばらしい夜景を楽しむ事ができる。入居者さま、来訪者さまからも『景色がとてもきれい。』と評判である。リビングは広く、入居者さまは思いのままに寛がれておられる。ホーム内は不快な臭いがない様、消毒、換気に気をつけている。職員は利用者中心の介護を目指し、入居者さまを主体としたケアに取り組んでいる。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>建物が高台にあるため各居室やリビングからの眺めもよく、自然を満喫できる環境にある。道路脇ではあるが騒音は殆ど感じない。「楽しく、のんびり、ゆっくりと」の理念に基づき、管理者は職員の業務に対する適正を見極めつつ、指導や助言も行っている。職員はその思いを理解し、互いに築いてきたチームワークと笑顔で入居者に寄り添った支援ができています。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 ユニットA (1号館) (安庵記入欄)	自己評価 ユニットB (2号館) (安庵記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	迷った時は見れる様に玄関、リビング、職員トイレに掲示している。	迷った時は見れる様に玄関、職員トイレに掲示している。朝申し送りで理念を唱和している。	理念は開所時に職員みんなで作り上げたものである。意識付けはユニット毎に違うが、常に立ち戻る原点として浸透している。日々のケアの中で、思いの共有や話し合いが実践されていることから、それが活かされているのが分かる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、神社のお祭りに参加、あるいは地域の獅子舞など来ていただいている。福祉施設の夏祭りには花火大会に参加して楽しんでいる。	運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、神社のお祭りに参加、あるいは地域の獅子舞等に来て頂いている。敬老の日には地域の公民館に出向き交流を図っている。福祉施設の夏祭りには花火大会に参加して楽しんでいる。	事業所は高台にあり周囲に民家は少ない。そのため地域全体との交流や行事などには積極的に参加している。また、進んで近所のごみ集積場を清掃するなど地域の一員としての意識は高い。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に出席された地域の方(区長さん、民生委員さん、商店の店主さん、交番、消防署等)に認知症の議題に触れ情報を交換している。	運営推進会議に出席された地域の方(区長さん、民生委員さん、商店の店主さん、交番、消防署等)に認知症の議題に触れ情報を交換している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	介護サービスの内容や行事報告が行われそこの意見を今後のサービスに生かしている。	介護サービスの内容や行事報告が行われそこの意見を今後のサービスに生かしている。	運営推進会議は、家族も含め、メンバーの出席率は高く報告のみに留まらず率直な意見交換ができるよう努めている。また、事業所の立地環境では普段の立ち寄り等が少ないため、地域の情報が得られる貴重な機会ともなっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃より気になる事は窓口に出向いたり、電話をしたりして相談している。又空きが出ればパンフレットを市町村に持参して、相談に乗って頂いている。	日頃より気になる事は窓口に出向いたり、電話をしたりして相談している。又空きが出ればパンフレットを市町村に持参して、相談に乗って頂いている。	日頃からコミュニケーションを図り、相談事には実直に対応してもらえる関係が出来ている。最近ではスプリンクラー設置について適切なアドバイスをもらっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	～身体拘束排除宣言～の内容を書いた紙を掲示して身体拘束ゼロを目指して実践している。	～身体拘束排除宣言～の内容を書いた紙を掲示して身体拘束ゼロを目指して実践している。	全ての職員は身体拘束の内容とその弊害を認識している。毎月の職員会議には勉強会の枠がありテーマにもなっている。過去の経験から出入りにセンサーはあるが、職員の見守りやチームワークで見守りを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設外研修に出向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行うようにしている。	平成25年11月5日		

自己	外部	項目	自己評価 ユニットA (1号館) (安庵記入欄)	自己評価 ユニットB (2号館) (安庵記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設外研修に出向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行うようにしている。	施設外研修に出向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行うようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	図っている。	図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見・要望が出たら職員会議に出して改善するように努め運営に反映させている。	意見・要望が出たら職員会議に出して改善するように努め運営に反映させている。	家族の訪問時にはお茶を勧めながら要望を引き出す努力や、何でも言ってもらえる雰囲気づくりに留意している。出された意見等は速やかに図られ、家族へ返されている。また、事業所の外に相談窓口があることも書類に明記し説明も行っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議に出して話し合い、改善するように努め運営に反映させている。	職員会議に出して話し合い、改善するように努め運営に反映させている。	月1回、非番者も出席する職員会議がユニット毎に行われている。管理者は、入居者の状況を直に知っている職員が意見を出しやすいように、また、それを活かせるように努めている。最近の意見からケアに必要な医療器具や一般の電化製品についても検討されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回3月頃個人面談をして、悩み、相談希望を聞き、その個人を知る様にしている。又顧問税理士、労務士、に相談しながら働きやすいように整備している。	年に1回3月頃個人面談をして、悩み、相談希望を聞き、その個人を知る様にしている。又顧問税理士、労務士、に相談しながら働きやすいように整備している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を出来る限り、個人のレベルに合わせ、平等に受ける事ができる様にしている。	法人内外の研修を出来る限り、個人のレベルに合わせ、平等に受ける事ができる様にしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	唐津市内のグループホームの集まりで、月1回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り伝達講習をしてサービスの向上に努めている。	唐津市内のグループホームの集まりで、月1回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り伝達講習をしてサービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 ユニットA (1号館) (安庵記入欄)	自己評価 ユニットB (2号館) (安庵記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人さんの意向を聞きケアプランを作成して、説明するようになっている。(同意して頂いたらサインを貰う様になっている。)	本人さんの意向を聞きケアプランを作成して、説明するようになっている。(同意して頂いたらサインを貰う様になっている。)		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族さんの意向を聞きケアプランを作成して、説明するようになっている。長期来れない所は郵送して理解を得るようになっている。	家族さんの意向を聞きケアプランを作成して、説明するようになっている。長期来れない所は郵送して理解を得るようになっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族さんの意向を聞きケアプランを作成して、説明するようになっている。(同意して頂いたらサインを貰う様になっている。)	本人・家族さんの意向を聞きケアプランを作成して、説明するようになっている。(同意して頂いたらサインを貰う様になっている。)		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念に挙げていて、日頃から上目線ではなく共に過ごし支え合うように努めている。	理念に挙げていて、日頃から上目線ではなく共に過ごし支え合うように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会が遠のいている御家族で本人さんが寂しくない様に何とか最低月に1回位は面会を兼ねての食事会、あるいは外出等ができる様に話し合いをして日頃よりコミュニケーションをとっている。	面会が遠のいている御家族で本人さんが寂しくない様に何とか最低月に1回位は面会を兼ねての食事会、あるいは外出等ができる様に話し合いをして日頃よりコミュニケーションをとっている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望を聞きながら外出、ドライブ、自宅への帰省など支援している。馴染みの人が面会に来られた時は、お茶・おやつを出したりして、ゆっくり寛げるようになっている。	本人の希望を聞きながら外出、ドライブ、自宅への帰省など支援している。馴染みの人が面会に来られた時は、お茶・おやつを出したりして、ゆっくり寛げるようになっている。	入居時に本人や家族と話す中で、これまでの人間関係などを把握している。電話や年賀状などを促したり、出来るだけ関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングにソファを置き利用者同士が話しやすくしている。	リビングにソファを置き利用者同士が話しやすくしている。		

自己	外部	項目	自己評価 ユニットA (1号館) (安庵記入欄)	自己評価 ユニットB (2号館) (安庵記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されたらお見舞に行ったり、電話をしたり、近くにお寄りの際はホームに顔を出す様にと話している。	入院されたらお見舞に行ったり、電話をしたり、近くにお寄りの際はホームに顔を出す様にと話している。	/	/
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に本人、家族に介護に対する意向を聞き、できる限り本人本位でいられる様にしている。	入居時に本人、家族に介護に対する意向を聞き、できる限り本人本位でいられる様にしている。	腰をかがめ入居者と目線を合わせながら声を掛けたり、ケアプランからヒントを得たりしている。意思疎通が難しい場合でも表情などから把握しようと努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々コミュニケーションをとり、本人様の昔話から聞きだし、又御家族様から情報を得て、アセスメントシートに落とし込んで把握する様に努めている。	日々コミュニケーションをとり、本人様の昔話から聞きだし、又御家族様から情報を得て、アセスメントシートに落とし込んで把握する様に努めている。	/	/
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々コミュニケーションをとり、フェイスシート、アセスメントシートに落とし込んで把握する様に努めている。	日々コミュニケーションをとり、フェイスシート、アセスメントシートに落とし込んで把握する様に努めている。	/	/
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き介護計画を作成しモニタリングを行っている。	定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き介護計画を作成しモニタリングを行っている。	介護計画はアセスメントとモニタリングを繰り返しながら、設定期間毎の見直しはもとより、変化等があれば臨機応変に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテの経過記録と熱計表は日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又スタッフ全員に伝えたい事は、伝達ノートに記載して、情報を共有し実践や介護計画に活用している。	カルテの経過記録と熱計表は日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又スタッフ全員に伝えたい事は、伝達ノートに記載して、情報を共有し実践や介護計画に活用している。	/	/
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに応じ他の事業所の支援体制が取れる様にしている。(デイサービス、ショートステイ、訪問介護サービス等)	ニーズに応じ他の事業所の支援体制が取れる様にしている。(デイサービス、ショートステイ、訪問介護サービス等)	/	/

自己	外部	項目	自己評価 ユニットA (1号館) (安庵記入欄)	自己評価 ユニットB (2号館) (安庵記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむ事ができる様にしている。	民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむ事ができる様にしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望する医療機関をかかりつけ医とし、必要におうじて往診がうけられるようにしている。定期受診は、家族が付き添うが、出来ない時は職員が対応している。	希望する医療機関をかかりつけ医とし、必要におうじて往診がうけられるようにしている。定期受診は、家族が付き添うが、出来ない時は職員が対応している。	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。受診には必要に応じて付き添ったり家族と同行する場合もある。職員のみが付き添う場合、その受診結果は当日中に家族に報告されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム内に看護師がいて日常の健康管理や適切な受診看護が受けられるように支援している。	ホーム内に看護師がいて日常の健康管理や適切な受診看護が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は定期的に面会に行ったり、電話をしたりして、医師・看護師に情報交換をしている。	入院中は定期的に面会に行ったり、電話をしたりして、医師・看護師に情報交換をしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	時期がきたらかかりつけ医、看護師、スタッフで、終末期のあり方について話し合い、本人や家族の意向を確認し、対応方針を文書で説明し、同意を得ている。	時期がきたらかかりつけ医、看護師、スタッフで、終末期のあり方について話し合い、本人や家族の意向を確認し、対応方針を文書で説明し、同意を得ている。	これまでに看取りの経験がある。入居時や重度化した段階毎に家族とも話し合いがもたれている。安心して納得した最期を迎えられるように、随時意志を確認しながら取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当、初期対応、救急救命の勉強会は行っている。	応急手当、初期対応、救急救命の勉強会は行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て定期的な訓練を行い(5月、11月)、消化、通報、避難誘導方法が見につくようにしている。	消防署の協力を得て定期的な訓練を行い(5月、11月)、消化、通報、避難誘導方法が見につくようにしている。	年2回、消防署も立会い、隣接する同法人施設や他法人施設と合同で訓練を行っている。周囲に民家が少ないため、法人同士での協力体制となっている。職員は消火器の使い方も熟知しており、数名はすぐに駆けつけられる近さに居住している。非常食や水、懐中電灯などが入った非常持ち出しリュックが各ユニットに用意されている。	

自己	外部	項目	自己評価 ユニットA (1号館) (安庵記入欄)	自己評価 ユニットB (2号館) (安庵記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から尊厳をもって接するように理念や教訓を見に付く場所へ掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけが、さりげなく出来るようにしている。	日頃から尊厳をもって接するように理念や教訓を見に付く場所へ掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけが、さりげなく出来るようにしている。	援助が必要な時は、まず本人の気持ちを大切にしている。年長者として敬意をはらい、さりげないケアを心掛けている。ホーム便りに掲載されるスナップ写真でも本人や家族の了承を得ており、責任ある取り扱いや管理をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを聞き、できる限り自己決定ができる様にしている。	本人の思いを聞き、できる限り自己決定ができる様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム内での全体の日課はあるが、その中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々にそった対応をしている。	ホーム内での全体の日課はあるが、その中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々にそった対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容に関しては訪問理容を利用したり、行きつけのある方は家族、又はスタッフが付き添い、その人らしい身だしなみができる様に支援している。	理美容に関しては訪問理容を利用したり、行きつけのある方は家族、又はスタッフが付き添い、その人らしい身だしなみができる様に支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは本人の希望を聞きながら又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。出来る御利用者様には一緒に食事の準備、後片付けをして頂いている。	メニューは本人の希望を聞きながら又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。出来る御利用者様には一緒に食事の準備、後片付けをして頂いている。	その日のメニューは、冷蔵庫の食材と入居者の希望も聞きながら決めるようにしている。年を重ねるにつれ入居者の手伝いは減っているが、出来る範囲で一緒に準備もしている。職員は入居者と同じものを同じテーブルで食べ、時には笑い声もまじりながら和やかな食事風景である。また、誕生日には本人の希望にそった献立が用意される。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は朝・昼・夕とカルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し指示を仰ぐ。健康のパロメータとして早期に異常の発見に努め一人ひとりに応じた支援をしている。	食事摂取量は朝・昼・夕とカルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し指示を仰ぐ。健康のパロメータとして早期に異常の発見に努め一人ひとりに応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、本人のレベルに応じた口腔ケアをしている。自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人・・・(必要に応じての支援)	毎食後、本人のレベルに応じた口腔ケアをしている。自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人・・・(必要に応じての支援)		

自己	外部	項目	自己評価 ユニットA (1号館) (安庵記入欄)	自己評価 ユニットB (2号館) (安庵記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	頻回な見守りをして、排泄パターンを知りそして把握できたら、さりげなくトイレに誘導している。	トイレにチェック表を作ったり、頻回な見守りをして、排泄パターンを知りそして把握できたら、さりげなくトイレに誘導している。	自尊心に配慮し、入居者の様子やチェック表からさりげなく誘導している。身体機能に応じて介助を行い、トイレでの排泄を大切にしている。リハビリパンツやパット類も本人の状況に合わせて利用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	旬の繊維の多い野菜をを食材に使用したり、10時、15時はお茶したり、ホーム周辺の散歩をしたりと工夫している。	旬の繊維の多い野菜をを食材に使用したり、10時、15時はお茶したり、ホーム周辺の散歩をしたりと工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一応曜日は決めているが、作業後お風呂に入りたいという要望があればシャワーを浴びたりしている。又ゆっくり入りたいと言う要望があれば時間をせかさないう様に心がけている。入浴を拒否される方には、トイレ等立ったついでに入浴の誘導を行う工夫をしている。	一応曜日は決めているが、作業後お風呂に入りたいという要望があればシャワーを浴びたりしている。又ゆっくり入りたいと言う要望があれば時間をせかさないう様に心がけている。入浴を拒否される方には、トイレ等立ったついでに入浴の誘導を行う工夫をしている。	週3回を目途にしているが、畑で汗をかいたり、必要があればこの限りではない。どうしても拒む方にも清拭等に対応している。設備面の工夫では、身体機能の低下によりリフト浴が追加されたり、日頃の入居者の様子から判断した箇所に手摺りを付けたりしている。脱衣場も温度管理され、衣服の脱ぎ着はできるだけ本人に任せ、職員は見守っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温には気をつけ、エアコン、電気毛布、電気カーペット、ファンヒーター、湯たんぽ、空気清浄器、加湿器、除湿機を使用したり、疲れて足が腫れている人には、足を高くしたりして、居室、リビングで休息とって気持ちよく眠れるように支援している。	室温には気をつけ、エアコン、ファンヒーター、電気アンカ、空気清浄器、加湿器を使用したり、疲れて足が腫れている人には、足を高くしたりして、居室、リビングで休息とって気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬効、副作用が理解できる様に一人ひとりの最新情報の薬の効能書きを各個人のカルテに閉じて情報を共有している。	薬効、副作用が理解できる様に一人ひとりの最新情報の薬の効能書きを各個人のカルテに閉じて情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴を聴取して、希望に添った楽しみ、役割の支援をしている。(タバコ、晩酌にビールを出す等)	入居時に生活歴を聴取して、希望に添った楽しみ、役割の支援をしている。(晩酌に酒を出す、個別に好きな音楽を聴く等)		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩・ドライブ等、希望に添った外出支援に努めている。	買い物や散歩・ドライブ等、希望に添った外出支援に努めている。	職員は、入居者が事業所の中だけで過ごすことの弊害もよく理解しており、気分転換や五感を刺激するためにも周辺への散歩などは多く行っている。外出行事の際は同法人の車椅子対応車両を使い、安全にも配慮しながら支援している。	

自己	外部	項目	自己評価 ユニットA (1号館) (安庵記入欄)	自己評価 ユニットB (2号館) (安庵記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持したいと言う希望があれば3,000円程度は持てるようにして、又買い物の時など施設が立替えてお金を使えるようにしている。	お金を所持したいと言う希望があれば3,000円程度は持てるようにして、又買い物の時など施設が立替えてお金を使えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に電話が出来るように支援している。	家族や大切な人に電話が出来るように支援している。又季節ごとに希望があれば年賀状を書いたり暑中見舞いのハガキを書いたりしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日頃より換気をしたり快適な温度でいれるようにエアコンを入れたりしている。又玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるようにしている。	日頃より換気をしたり快適な温度でいれるようにエアコンを入れたりしている。又玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるようにしている。	入居者が多くの時間を過ごすリビングでは手作りの大きな布製日替わりカレンダーが日付や曜日の確認に役立ちながらインテリアにもなっている。金魚などの観賞魚に時間を決めて餌を与えるのは入居者である。更に、季節感のあるものをうまく活用しながら暮らしの場として整えられている。浴室やトイレはきれいに掃除され換気にも気を遣い臭気はない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには自由に過ごせるソファ等置き談話したりテレビを見たり、思い思いに過ごせるようにしている。	リビングには自由に過ごせるソファ等置き談話したりテレビを見たり、思い思いに過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇、タンス、布団、テレビ等、使い慣れたものを持ち込み、又居室で動物(猫)を飼ったりと本人が居心地良く過ごせる様にしている。	タンス、布団、テレビ、ポータブルトイレ等使い慣れたものを持ち込み、本人が居心地良く過ごせる様にしている。	居室に持ち込む物に原則制限はないが、ベッドの他に整理ダンス等が備えてあり、それを利用しているのが殆どである。本をたくさん置いている方、子供や孫、ひ孫に囲まれた写真を飾っている方、仏壇を持つ方へのお茶や水を供える日課など、担当職員の支援によりその方らしく暮らせる部屋となっている。居室は職員により毎日きれいに掃除され、希望があれば家族の宿泊も可能である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーにして段差をなくしたり、廊下・トイレ、風呂等手すりをつけたり、ナースコールを付けたりして出来るだけ自立した生活が送れる様にしている。日付け、曜日が分かりやすいように大きい手作りカレンダーを使用している。	バリアフリーにして段差をなくしたり、廊下・トイレ、風呂等手すりをつけたり、ナースコールを付けたりして出来るだけ自立した生活が送れる様にしている。日付け、曜日が分かりやすいように大きい手作りカレンダーを使用している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		1号館(ユニットA)	2号館(ユニットB)	該当するものに○印をつけてください
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		1号館(ユニットA)	2号館(ユニットB)	該当するものに○印をつけてください
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない